



標津町・（一社）南知床標津町観光協会

# 北海道標津町の概要・位置

世界自然遺産知床の南に位置する標津町（しべつ）は、水産業と酪農業を基幹とする生産の町です。

古くから鮭を中心とする漁業により開けたまちである一方、明治時代後半から大正時代にかけて、入植者により開拓されました。

「シベツ」の語源は、アイヌ語で「鮭のいるところ、大川または本流」の意味があります。



■人口 4,815人（令和6年9月1日現在）

■世帯数 2,370世帯

■平成19年（2007年）

「日本で最も美しい村」連合に加盟

■令和2年（2020年）

『「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～』が日本遺産に認定（※1市3町で連盟申請）

■中標津空港から車で30分程度

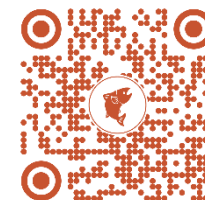
■体験から学ぶ**体験型観光を推進**

■「鮭の聖地」源流のまち **関係人口を創出**

■標津町観光ポータルサイト

「けさのさけ」

**総合的な観光の情報発信**





# 標津町での教育旅行等の受入実績

年 度	H28 年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受入団体	26団体	25団体	34団体	33団体	12団体	27団体	56団体	37団体
受入人数	1,099人	973人	1,082人	2,523人	197人	577人	2,727人	2,694人

標津町は体験型観光を推進しており、平成13年度には各種体験のインストラクターとして町民有志で構成された「標津町観光ガイド協会」が設立されました。同年には教育旅行のコーディネーターとして「標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会」が設立され、翌年の平成14年度から教育旅行等の受け入れがはじまりました。また、全国ほんもの体験ネットワーク・全国教育民泊協会に加入し、定期的にガイド養成研修会の開催、フォーラムの参加、アドバイザーの招聘・受入態勢の見直しを実施しています。

令和3年度には標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会は標津町観光協会と統合し、新たに「南知床標津町観光協会」となりました。令和6年6月に一般社団法人化し、教育旅行等の受け入れを引き続き行っております。

近年の受入人数は2,500人程度、受入時期は5月末から10月末頃の期間が多くあります。

※令和元年度は北方領土を目で見る運動補助金の制度改正により増加傾向

※令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、例年より受入が減少

# 標津町の体験施設地図



## 体験施設など

### A 標津町役場

〒086-1632  
北海道標津郡標津町北2条西1丁目  
☎0153-82-2131

### F 北方領土館

〒0086-1632  
標津町北2条東1丁目  
☎0153-82-2422

### B 標津町国民健康保険標津病院

〒086-1631  
北海道標津郡標津町北1条西5丁目  
☎0153-82-2111

### G 標津番屋(海の公園)

〒086-1631  
北海道標津郡標津町北1条東1丁目  
☎0153-82-3211

### C 標津サーモン科学館

〒086-1631  
北海道標津郡標津町北1条西6丁目  
☎0153-82-1141

### H しべつ「海の公園」キャンプ場

〒086-1653  
北海道標津郡標津町南3条東1丁目  
☎0153-82-2265

### D 標津町生涯学習センター あすばる

〒086-1655  
標津町南1条西5丁目  
☎0153-82-2900

### I ポー川自然史跡公園

〒086-1601  
北海道標津郡標津町字伊茶仁2784  
☎0153-82-3674

### E 標津町文化ホール

〒086-1651  
標津町南1条西2丁目



# モデルコース【1泊2日】 ※60名

日 程	午 前	午 後	宿 泊	
1 日 目	羽田空港 出 発	中標津空港 到 着 サーモン 科学館見学	北方領土 講 話	標津町内 分 宿 ※根室管内分宿
2 日 目 (A 班)	北方領土館 見 学	新 巻 鮭 づくり体験	カヌー体験 又は遺跡群ガ イドウォーク	他市町村に移動
2 日 目 (B 班)	カヌー体験 又は遺跡群ガ イドウォーク	北方領土館 見 学	新 巻 鮭 づくり体験	

<補足事項> ※実施時期については、9月上旬～10月下旬想定

1日目と2日目を標津町に滞在し、2日目の夕方から他市町村に移動する場合のモデルコースです。

このコースでは、1日目に自然環境（鮭）学習（サーモン科学館）と北方領土学習（講話）を学びます。

2日目は1日目に学習した内容（自然環境・北方領土学習）を地元ガイドさんと一緒に体験を通じて学ぶことができます。

なお、本モデルコースを経路にすることで「北方領土を目で見る運動」補助金の交付要件に該当します。

# サーモン科学館見学



サケ科魚類展示種類数が国内No.1のサケの水族館。海水大水槽・魚道水槽・映像室・  
チョウザメ「指パク」体験コーナー・鮭の聖地エキシビジョンルーム・展望室がオススメ

<開館時期> 2月1日～11月30日 9時30分～17時まで（入館受付は16時30分まで）

<受入人数> 館内レクチャーあり：40名×2班（映像鑑賞班(40名)と館内見学班(40名)と入れ替え）

館内レクチャーなし：40名以上の場合は10分前後ずらして入館していただきます

<所要時間> 1時間前後

<持ち物等> 特になし

<住所> 〒086-1631 北海道標津郡標津町北1条西6丁目1-1

# 北方領土学習【元島民の講話】



北方領土の歴史や産業について学び、北方領土問題への関心を高めることを目的に実施されています。引き揚げ当時の体験や現地交流・返還運動など元島民の生の経験を聞くことは、北方領土について深く知ることのできる貴重な体験となります。

<実施時期> 通年

<受入人数> 200名まで

<所要時間> 1時間程度

<持ち物等> 筆記用具等（必要な場合のみ）

<場 所> 1) 標津町生涯学習センター あすぱる（〒086-1651 北海道標津郡標津町南1条西5丁目5-3）

2) 北方領土館（〒086-1652 北海道標津郡標津町北2条東1丁目1-14） ※30名まで



# 昼食の提供



あすばる



標津番屋

地元産の海鮮食材をふんだんに使ったメニューを中心にお弁当や・弁当  
鮭のちゃんちゃん焼き・ジンギスカンのバーベキューをご用意しています。

- <昼食場所> 1) 標津町生涯学習センター あすばる (〒086-1651 北海道標津郡標津町南1条西5丁目5-3)  
2) 標津番屋 (〒086-1631 北海道標津郡標津町北1条東1丁目28番地) ※バーベキュー可
- <受入時期> 1) 通年  
2) 5月上旬～10月末
- <受入人数> 1) 200名まで  
2) 120名まで

※食事前または食事中に歓迎のご挨拶と食事メニューの内容について、説明をさせていただきます

※昼食メニューの成分表がありますので、アレルギー対応についてはお気軽にご相談ください



# ポー川史跡自然公園 標津遺跡群ガイドウォーク



広大な自然と一万年の歴史を堪能！手つかずの自然と遺跡をガイドの解説とともに体感できるプログラム。  
「標津湿原」「標津遺跡群」の散策を通して、当時の暮らしの跡を間近でご覧いただけます。

<実施時期> 5月上旬～11月上旬

<受入人数> 50名まで

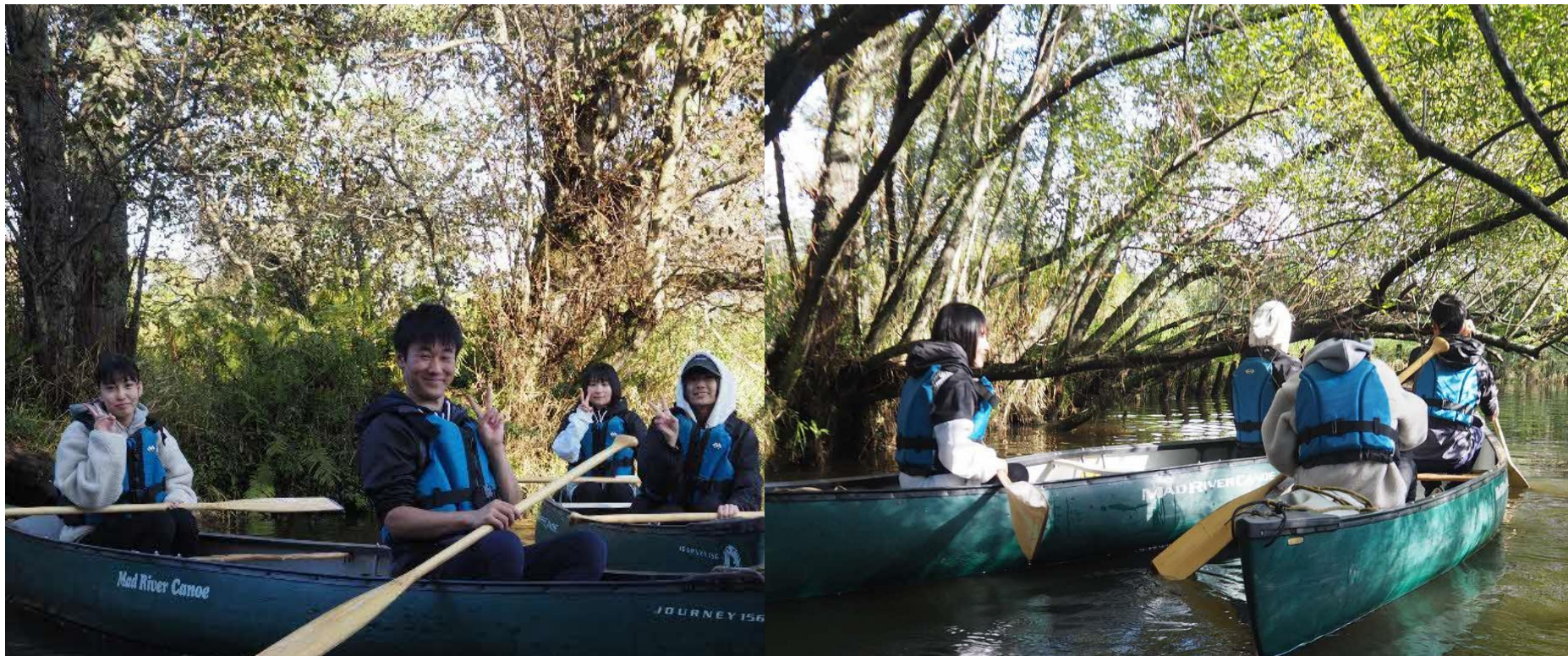
<所要時間> 1時間30分～2時間

<持ち物等> 動きやすい服装

<体験場所> ポー川史跡自然公園（〒086-1602 北海道標津郡標津町字伊茶仁2784番地）



# 原始河川ポー川カヌー体験



手つかずの原始河川ポー川でカヌーを体験できます。ポー川は一万年以上の歴史があり、古くからの遺跡もたくさん眠っています。そんな歴史を感じられる自然の中をカヌーで巡ります。

<実施時期> 5月上旬～11月上旬

<受入人数> 20名まで

<所要時間> 1時間30分～2時間

<持ち物等> 濡れてもいい服装

<体験場所> ポー川史跡自然公園（〒086-1602 北海道標津郡標津町字伊茶仁2784番地）





# 受入プログラムの事例（目的別）

- ①北方領土学習（講話・施設見学）
- ②昼食（中・大規模 場所：標津番屋・あすぱる）
- ③体験プログラム（体験選択制） ※荒天時プログラム含む
- ④オーダーメイド体験（例：活カレイ捌き）
- ④宿泊拠点型（宿泊のみ1泊～2泊、管内宿泊施設）
- ⑤複合型（体験・宿泊・昼食）
- ⑥農山漁村生活体験・民泊型
- ⑦フィールドワーク・ヒアリング（調査学習）

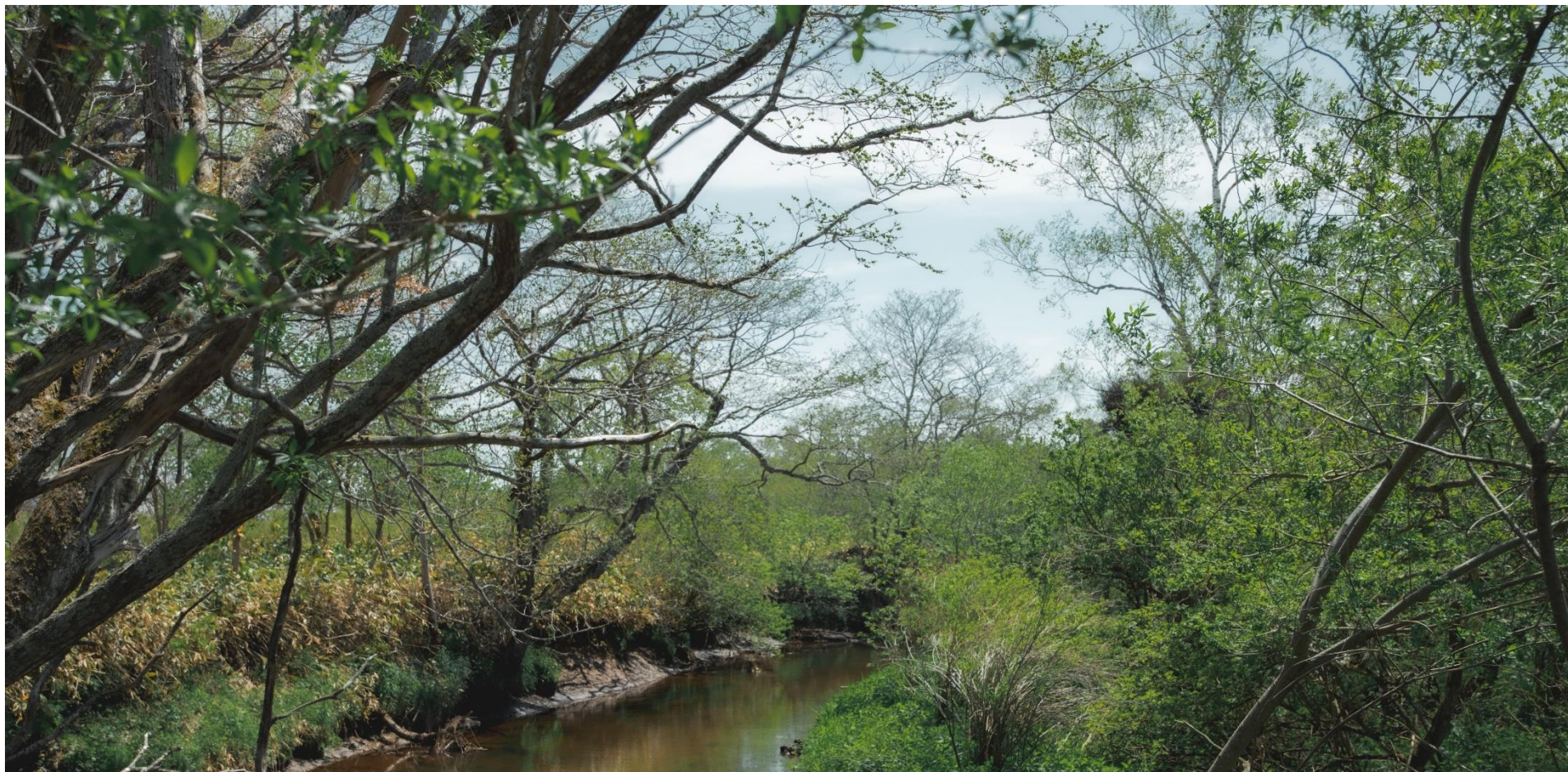


- 旅行手配・様々な希望に応じて対応
- 現地コーディネーター配置、旅程管理・教育効果をサポート









## 【教育旅行や団体旅行等の問い合わせ窓口について】

- 受入等に関する問い合わせ先 → (一社) 南知床標津町観光協会 (TEL : 0153-85-7226)
- 補助金に関する問い合わせ先 → 標津町役場 商工観光課 (TEL : 0153-85-7246)